

第33回理事会議事録

一般社団法人日本ねじ工業協会

開催日時：2021年3月18日（木）15:00～16:00

開催場所：東京「機械振興会館」6-61会議室 + WEB会議

現在の理事数 10名

出席した理事数 10名

現在の監事数 2名

出席した監事数 1名

（順不同、敬称略）

○理事出席（10名）

代表理事	椿 省 一 郎	株式会社互省製作所
理 事	佐 藤 義 則	株式会社サトーラシ
”	長谷川 裕 恭	株式会社メイドー
”	後 藤 晴 雄	株式会社朝日押捻子製作所
”	高 須 俊 行	富士セイラ株式会社
”	望 月 紀 人	クラウン精密工業株式会社
”	藤 田 守 彦	藤田螺子工業株式会社
”	樫 本 隆 之	株式会社三和鋳螺製作所
”	嶋 田 守	株式会社フセラシ
業務執行理事	大 磯 義 和	一般社団法人日本ねじ工業協会

○監事出席（1名）

監 事	山 口 誠 一	株式会社山口ナット
-----	---------	-----------

○監事欠席（1名）

監 事	池 田 裕 之	池田金属株式会社
-----	---------	----------

○来賓

経済産業省製造産業局産業機械課

課長補佐 安 田 正 一 氏

係 長 夏 見 祐 奈 氏

○議 題

1. 第9回社員総会付議案件について

(1) 2021年度事業計画案について

(2) 2021年度収支予算案について

(3) 次期理事及び監事候補選任案について

2. 執行役員候補案について

◎報告事項

①臨時社員総会（委任状による開催）で補正予算案承認について

②事務局職員採用について

③2021年度行事予定案について

・次回4月理事会について

・第9回社員総会について

○議 事

専務理事が定数を確認し、理事本人出席 10 名で本理事会が有効に成立している旨を報告し、会長より開会の挨拶があった。

その後、経産省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 安田正一氏から挨拶の後、令和2年度補正予算案について、予算・税制、事業再構築補助金概要、緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金の詳細についての説明があった。

議題 1 第 9 回社員総会付議案件について

(1) 2021 年度事業計画案について

(2) 2021 年度収支予算案について

専務理事より、2021 年度事業計画案を資料 1-1 に基づき、そして資料 1-2 に基づき、今期の収入及び事業計画をもとにした支出に関する事業予算案の骨子について説明した。

特に、事業計画案は、コロナ禍を考慮して Web 会議を基本とした実施可能な最低限の事業で作成されており概要は以下のとおり。

○ 政策委員会では、協会全体の事業の推進、管理及び統括を行う。

協会重点事業は以下の通りと専務理事より説明。

- ① ねじ製造技能検定制度の協会認定の事業
- ② 会員交流の事業
- ③ JIS普及促進等を通じた技術振興事業
- ④ 海外ねじ業界との国際交流事業
- ⑤ 協会創立60周年記念事業

○ 未来開発パブリシティー委員会

ねじ関連産業に携わる従事者のモチベーション向上に努め更なる地位の向上を目指す。協会創立60周年を契機に協会を変革して未来に繋がる体制強化、会員へのアウトプットを確実に目指すと説明があった。

- ① 協会ホームページのリニューアルを目指して準備を進める
- ② コロナ禍に対応して、より強く会員・外部への発信を多くする。
- ③ 会員情報を更にブラッシュアップして発信をする
- ④ 広報活動に付随をして下記の発信をする。
 - ・生産統計、輸出入統計、主要国の貿易統計
 - ・ねじの日（6月1日）の事業検討・推進

特に、60周年記念事業について、記念事業を担当する未来開発パブリシティー委員長の藤田副会長より、60周年記念式典・講演会・祝宴は、2021年10月20日に延期されたが、今後のコロナ禍の状況を注視しながら、極力移動を少なくする工夫をして東京会場と大阪会場の2会場をオンラインで繋ぐことも考えるなど、何とか開催できるよう検討を進めていく旨説明があった。さらに高須副会長・副委員長より、60周年記念誌については、記念式典の内容（10月20日実施）を盛り込むため発刊は2022年1月頃を予定しており、それでは60周年記念事業の一つとして2020年10月13日に開催した60周年記念座談会について、実施後かなりの時間が経過してしまうため、本年4月を目途に協会ホームページで記念座談会の内容を公開する旨説明があった。

○ 資格委員会

ねじ製造技能に対する社会一般の評価を高め、ねじ産業に従事する人々の技能の向上を図るために、ねじ製造技能検定（協会認定）制度として確立するために、ねじ製造技能検定（協会認定）及びねじ製造技能検定講習会の充実を図るなど、事業を行うと専務理事より説明があった。

○ 技術委員会

JIS 本体規格品の普及推進活動、技術講習会、ねじ関係の材料研究事業、圧造技術スクール他前年同様の事業を行うと専務理事より説明した。

○ 国際委員会

海外ねじ業界との相互交流及び国際協調を図り、日独交流の進め方や海外ねじ専門誌への情報発信、その他国際協調及び国際競争力強化に関する事業などの事業を実施すると説明があった。

○ 取引委員会

ねじ産業における取引の適正化、適正取引のための自主行動計画のフォローアップ、業界別適正取引ガイドラインの周知・遵守運用なども検討したいと専務理事より説明した。

○ ソケットスクリュー部会及びステンレスねじ部会の2つの部会とその他 組織強化事業の計画内容を説明した。

続いて、この事業計画案を実施するための 2021 年度収支予算案については、収入で、会費収入を9か月分として計上している旨説明した。（会員からの3ヶ月分の会費免除）

なお 2021 年度の予算は、5 月 20 日開催の社員総会で議決・成立となるため、新年度開始の4月1日から社員総会までの約2ヶ月間の予算及びその執行については、定款の規程に従い、前年度の予算執行の例により執行すると説明した。

そして、議長より、2021 年度事業計画案及び 2021 年度収支予算案について、第9回社員総会に付議することを議場に諮った結果、原案どおり承認された。

(3) 次期理事及び監事候補選任案について

新型コロナ感染拡大により協会の2021年組織改革が概ね1年の遅延を余儀なくされたため、現役員を1年間継続して役員候補とすることを審議願いたいと専務理事から説明があった。なお、北井敬人氏は、健康上の理由から退任する予定の大磯義和氏に代わる理事候補である。議長が議場に諮ったところ異議なく承認された。

議題2 執行役員候補案について

現執行役員は、2021年5月20日に開催される社員総会終結時をもって任期満了となる。通常であれば、関東、中部及び関西支部の役員選考委員会において、次期執行役員候補として選任するところである。

しかし、新型コロナ感染拡大により協会の2021年組織改革が概ね1年の遅延を余儀なくされたため、現執行役員を1年間継続して役員候補とすることを審議願いたいと専務理事から説明があった。議長が議場に諮ったところ承認された。

○報告事項

- ・コロナ禍の影響で、1月21日に、委任状による臨時社員総会を開催し補正予算案について承認頂いた旨報告があった。
- ・2月1日から90日間の試用期間をもって、本部事務局に 矢田雪菜 を職員として採用する。
- ・2021年度 行事計画案について説明があった。
その中で、特に以下の通り、説明があった。
 - 次回の理事会・執行役員会は、4月に事業報告及び収支決算書に関する書面審議を予定している。
 - 5月20日に第9回社員総会を予定している。

以上で議事の全てを終了し、16:00に閉会した。

以上の議決を明確にするため本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに押印する。

2021年3月18日

一般社団法人日本ねじ工業協会

会 長 椿 省 一 郎



議事録署名人 大 磯 義 和



議事録署名人 山 口 誠 一

